

令和2年度第2回三次市男女共同参画審議会 会議要旨

1. 日 時 令和2年12月15日(火) 14:00～15:40
2. 会 場 三次市役所本館 602・603会議室
3. 出席者 会 長 村田 和賀代
委 員 岸本 裕子
委 員 高下 亮子
委 員 石橋 太詞
委 員 中菊 圭子
委 員 竹中 典彦
委 員 西川 正治
委 員 林 敬子
委 員 宮地 順子
委 員 堀川 亮
- 欠席者 副会長 堀江 斎
委 員 富野井 利弘
委 員 貞近 景子
委 員 大庭 直美
- 事務局 三次市地域振興部 部長
三次市定住対策・暮らし支援課 課長
三次市定住対策・暮らし支援課共生社会推進係 係長
三次市定住対策・暮らし支援課共生社会推進係 主査
- 委託業者 株式会社エブリプラン
4. 議 事 (1) 三次市男女共同参画基本計画(第4次)素案について
5. 配布資料 ○ 次第
○ 三次市男女共同参画審議会委員一覧
○ 三次市男女共同参画基本計画(第4次)素案
6. 会議内容
(1) 開 会
(2) 議 事
① 三次市男女共同参画基本計画(第4次)素案について
- 【事務局説明】**
【質疑応答】
委 員： 2点伺いたい。1つ目は、p9とp30の「審議会等女性委員及び市職員女性管理職の割合」、「市役所職員の女性管理職の割合」の数値が異なってい

る。それぞれ平成31年と令和元年であるが、集計方法が違うのか。2つ目は、令和8年度の指標について、数値目標が記載されているのは非常に良いが、それぞれの数値の根拠を教えてほしい。現状として令和元年の数値が記載してあるが、過去の実績を基に達成可能なものとして算出しているのか。何らかの根拠を示せると良いと思う。

事務局： 両ページの数値の違いについては、p9は平成31年4月現在の数値、p30は令和元年度であり、年度末（令和2年3月）の数値となるため、数値が異なっています。

委員： それでは、令和2年3月の方は数値が下がっているが、市の状況は逆行しているのか。

事務局： 女性管理職員の集計には、行政職のみと病院職員などを含んだ全体のものがありますので、改めて詳細を確認し修正します。

委員： いずれも対象は市の職員ということか。

事務局： そうです。指標は、市の総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略を参考にしています。関連する指標の考え方としては、各担当部署の過去の実績に基づいて指標を設定しています。アンケート調査に基づくものは5年に一度の調査のタイミングで確認し設定しています。

委員： 第4次計画が確定してきたときに、現状（R1年度）の7年後となる令和8年度に指標が達成できるのかどうか分からない。この数値は別の計画からということであるが、男女共同参画基本計画を見る人は別の計画を見た上で確認するわけではない。通常は、過去の実績から指標をこれくらいにしようとなるのではないか。

事務局： 現行の第3次計画について、p19から第3次計画の施策内容の振り返りの中で経過を示しておりこちらで把握できるのではないかと考えています。今回指標を増やしたのは、年次の報告として事業の評価をする際に、取組の達成状況を◎、○、△、×で示すよりは、可能なものはその年の実績値を出し、分かりやすい評価にしようとの考えからです。そのため、施策の振り返りで経過が分からないものもありますが、総合戦略等でも男女共同参画の視点を取り入れているため、連携を図りながら設定しています。そちらの計画についても過去の実績は掲載していません。庁内をあげての一体的な取組として今回も同じような指標を使いながら今後の取組みを推進させていきたいと思っています。全庁的な取組として進めていくため指標を掲載させていただいているものです。

会長： 現状として、過去の実績を出せるものと出せないものがあるのか。

事務局： 各指標については、それぞれ過去の経過を踏まえて令和8年度の指標になっているとわかりやすいと思いますが、指標によっては全て同じバランスで掲載することが難しいものもあります。現計画の検証により設定している項目や、総合戦略の指標を基にしているものは、基準値が令和元年度、

目標が令和6年度であり、それ以外の指標もありますが、年次報告で取組状況を詳しく報告させていただきたいと思います。

委員： 本来この基本計画1冊でわかるのが本当ではないか。過去の実績が出せるものや出せないものがあるということだが、出せるものについては、書いてある方が見る側にとってよい。見る側の視点であったほうがいいのではないか。

事務局： 今まで、2次計画、3次計画と振り返りを行ってききましたので、令和3年度からスタートする第4次計画の指標は、令和元年度を基準年として指標を設定したいと考えています。さまざまな計画を関連づけ、総合的に判断して策定したものがこの計画となりますので、男女共同参画についてはこの計画とさせていただきたいと思います。

委員： p37に計画の推進として、「あらゆる分野における男女共同参画を総合的にとりまとめたもので、広範多岐にわたる施策が含まれています。」と書かれており、指標については数字的なところで目安かなと思っている。いろいろ広範囲にわたって考えていると大変なことが社会問題としてある。三次はどうなのかと自分自身も課題を持っている。大変難しい指標ではあるが、努力をしながらこれに向かっていくというのでどうだろうか。

委員： 数値目標について、今後検証できるので表記してあるのはよい。総合指標があり、個別指標は総合指標到達のためのものかと思った。個別指標は他の計画から持ってきているということで、総合指標との関連性はどうか知りたい。p32に「社会通念・しきたりの上で、男女が平等であると感じている人の割合」の令和8年度の指標が20%になっているが、これで総合指標の50%達成につながるのか。

委員： p25の総合指標はアンケート調査での結果であり、各指標は各担当課が具体的に出していくというものであるので、各々の指標の関連性はどうか考えればよいのか。

事務局： p25の基本計画の総合指標は、三次市総合計画に掲げている目標値で、基本計画の総合指標にしています。個別指標は具体的施策を推進するための指標ですが、それらを底上げすることで総合指標達成を目指すというものです。

委員： 総合指標を総合計画から採用したというのは良いが、指標を確認するのはアンケート調査ということでいいのか。アンケートは市民の声を基にして、各指標は各担当課に基づいているが、調整がつくのか。

事務局： 男女共同参画の指標を上げていくには、1つのことではなくあらゆる場面で個々の事業を積み上げていく必要があります。指標の中には、アンケート調査の中で市民の声を聞くものや、担当課の取組状況を見るものもあります。市役所の中で男女共同参画に向けて取組を推進する指標として、それらを踏まえた上での総合指標となっています。

- 委員：我々市民の理解として、7年間事業を推進していき、令和8年度の達成に向けてアンケート調査をして、市民2人に1人が満足と感じるというのが成果とあって良いか。
- 委員：p28のワーク・ライフ・バランスで第3次計画（p20）では、事業主等への支援が記載されていたが、第4次計画ではその文言が抜けている。指標では事業所の割合が入っているが、なぜ抜けているのか。p36の中に、第3次計画の施策内容の振り返りで避難所についてなども記載があった。それに対する指標では「消防団員のうち女性消防団員の人数」の指標しかないが、これ以外でも考えられるのではないか。p37(1)計画の推進体制で、やる気であるなら全庁横断的なものが必要であると思う。「男女共同参画推進委員会」があるがこれは何なのか分からない。資料に入れるべきでは。構成など、要綱ができていないのではないかとと思うが資料に載せるべきではないか。また、第3次計画に比べて文字が小さい。内容が豊富であるからなのかもしれないが、概要版では配慮してほしい。
- 委員：p53に「男女共同参画推進委員会」の記載がある。これがベースとなって、この審議会ということか。
- 事務局：男女共同参画推進委員会は、副市長をトップにした庁内組織の部長級会議です。第3次計画にも設置要綱を載せていませんでしたが、第4次計画では資料編に設置要綱を掲載していきたいとします。ワーク・ライフ・バランスの推進には、事業主等への取組を具体的施策に入れているので表現を改めたいと思います。災害に係る指標については、検討しましたが指標を取り入れるのは難しいかったため、入れていません。事業を推進していく中で、女性の視点が入るよう取り組み、年次報告等で報告したいと考えています。
- 会長：男女共同参画基本法が施行されたとき、ジェンダーの視点をあらゆる場面で取り入れていくというのが基本中の基本とされている。全庁的には難しくても少なくとも事業を推進する担当課はそのような意識を持って進めてもらいたい。指標にあがっていなくても、多岐にわたる事業を行い市民や事業所に意識を共有できるようにしていけると、総合指標50%を達成できるのではないだろうか。字が小さいとの指摘があったが、今回、ユニバーサルフォントを使用しておりとても良いと思う。ただ、このフォントは通常のフォントに比べてやや文字が小さくなるので、1サイズ大きくしてもらえるといいかもしれない。余白を狭くして11ptにしてももらえると読みやすくなる。
- 予定時間になったが、その他にご意見、ご質問はあるか。何かあれば、事務局まで連絡を頂ければと思う。
- 本日の意見を踏まえて、計画素案を修正して計画案とすることを承認いただけるか。

全委員：承認

(3) 閉会